

平成 30 年 西洋梨【有袋版】病虫害防除暦

JA 中野市営農センター
JA 中野市ナシ部会

◆ 無袋栽培専用防除暦は裏面をご覧ください。

散布日	散布時期	使用薬剤名	使用量	収穫前 使用 時期	年間 使用 回数	10a当り 散布量 (ℓ)	対象病虫害	注 意 事 項
月 日	第 1 回 3月下旬 (発芽前)	（水88ℓ） スプレーオイル 石灰硫黄合剤	2ℓ 10ℓ	発芽前 発芽前	— —	300	ハダニ類 カイガラムシ類	① 混用順：スプレーオイルに石灰硫黄合剤を加 ようし、よく攪拌する。 ② 石灰硫黄合剤に代えて、トップジン M 水和剤 の 1000 倍（前日、6 回）でもよい。
月 日	第 2 回 開花期 4月下旬	展着剤 サムコフロアブル10 トップジンM水和剤	10mℓ 20mℓ 100g	前日 前日	3回 6回	300	腐らん病 輪紋病 ケムシ類 ハマキムシ類	① 訪花昆虫に十分に注意する。 ② 赤星病対策 オンリーワンフロアブル 2,000 倍（前日、3 回）を 加用する。
月 日	第 3 回 5月上旬 (前回 15 日後)	展着剤 ベンレート水和剤 モスピラン顆粒水溶剤	10mℓ 50g 25g	前日 前日	4回 3回	400	輪紋病 胴枯病 アブラムシ類	① 訪花昆虫保護のため、指定薬剤以外散布し ない。
月 日	第 4 回 5月下旬 (前回 15 日後)	展着剤 コルト顆粒水和剤 ジマンダイセン水和剤	10mℓ 25g 200g	前日 30日前	3回 5回	400	輪紋病・黒斑病 黒星病 アブラムシ類 カイガラムシ類	① アブラムシ類の発生が目立つ場合は今回の 散布を早める。
月 日	第 5 回 6月上旬 (前回 15 日後)	展着剤 *① ダーズバン DF *② オキシラン水和剤	10mℓ 33g 200g	30日前 3日前	3回 9回	500	輪紋病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 クワコナカイガラムシ	① カイガラムシ類対策 アブロードフロアブルの 1000 倍（30 日前、 2 回）を加用する。 ② カメムシ類対策 ダーズバンDFに代えて、アルバリン顆粒水溶 剤の 2000 倍（前日、3 回）を使用する。
月 日	第 6 回 6月下旬 (前回 15 日後)	展着剤 ダーズバンDF オキシラン水和剤	10mℓ 33g 200g	30日 3日前	3回 9回	600	輪紋病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 クワコナカイガラムシ	① 輪紋病対策 袋掛けの前に散布する。また、輪紋病感染防 止のため、散布後 3 日以内に袋をかける。 ② ハダニ類対策：カネマイトフロアブル 1000 倍 （前日、1 回）を加用する。
月 日	特別散布 7月初旬	展着剤 オキシラン水和剤	10mℓ 200g	3日前	9回	600	輪紋病	🌿 輪紋病対策 袋掛けが遅れている場合は、今回の特別散布 を実施する。散布時期は前回より 10 日後を目 安とする。
月 日	第 7 回 7月上旬 (前回 20 日後)	展着剤 ナリアWDG *① サイアノックス水和剤 *②	10mℓ 50g 100g	前日 7日前	3回 3回	600	輪紋病 シンクイムシ類 ハマキムシ類	① ナリア WDG は、ピオーネ、サニールージュに 薬害を生じる恐れがあるので飛散しないよう にする。 ② シンクイムシ類対策 サイアノックス水和剤に代えて、バイスロイド EW2000 倍（7 日前、2 回）を使用する。
月 日	第 8 回 7月下旬 (前回 20 日後)	展着剤 スターマイトフロアブル *① キノドーフロアブル オリオン水和剤 40	10mℓ 50mℓ 100mℓ 100g	前日 3日前 3日前	1回 9回 2回	600	輪紋病 ハダニ類 シンクイムシ類 ハマキムシ類 カイガラムシ類	① スターマイトフロアブルに代えて、ダニコングフ ロアブル 2000 倍（前日、1 回）でもよい。
月 日	第 9 回 8月中旬 (前回 20 日後)	展着剤 *② キノドーフロアブル イカズチ WDG	10mℓ 100mℓ 66g	3日前 前日	9回 3回	600	輪紋病 シンクイムシ類 カメムシ類	① オーロラ等の最終散布。 ② ハダニ類対策 コロマイト乳剤の 1000 倍（前日、1 回）を加用する。
月 日	第 10 回 9月中旬 (前回 20 日後)	展着剤 *② ストロビードライフフロアブル ダントツ水溶剤	10mℓ 50g 50g	前日 前日	3回 3回	600	輪紋病 シンクイムシ類 カメムシ類 ケムシ類 コナカイガラムシ類	① ラ・フランス・バラード等の最終散布。 ② ストロビードライフフロアブルに代えて、キノド ーフロアブル 1000 倍（3 日前、9 回）でもよい。

◆ 安全・安心の農産物生産のために使用基準を厳守しましょう。

◆ 混用例：展着剤⇒液剤⇒乳剤⇒フロアブル⇒ドライフロアブル（D F）⇒顆粒水和剤（WD G）⇒水和剤⇒顆粒水溶剤⇒水溶剤

JA 創造的自己改革実践